

圧密加工の杉材を用いたデザインテーブル  
(金沢大学・学生交流ホール用)

大和リース株式会社 金沢支店



杉の学名は、「Cryptomeria Japonica」といい、

その意味は“隠された日本の財産”。

杉は、まだ量産製品の材料としての利用価値は低いのが現状です。  
そこに着目した金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻の大学院生が  
有効利用を目的として開発し、卒業制作として発表。

「日本産材木材のアイデンティティと成り得る  
杉の魅力を伝えたい」。

当社は その思いに 賛同し、実用化を検証するに至りました。



大和リースでは、現在 金沢大学の留学生宿舎整備事業を行っており、その中の学生交流ホールに、デザインテーブルを提供いたします。

国内は勿論、海外からの留学生に 杉の木のぬくもりや質感を感じながら、日本という美しい国の美を身近に感じていただけたらと願っております。

審査委員コメント

地元の大学のアイデア(杉の圧密加工材を用いたデザイン性の高いテーブルやイス)を活用して、専門の企業とタイアップして製品とし、これを他大学での国際交流スペースで活用しているという、産学のコラボレーションの取組であることを評価します。

日本に多くある杉材を活用した本製品を広く普及させ、石川県やひいては日本全体の里山保全につなげていっていただきたいと、今後は金沢支店だけでなく石川発の提案として、全国の支店にエコを切り口とした産学のコラボレーションの取組として波及させ、さらに多くの企業へ広げ繋げていただきたいと期待します。